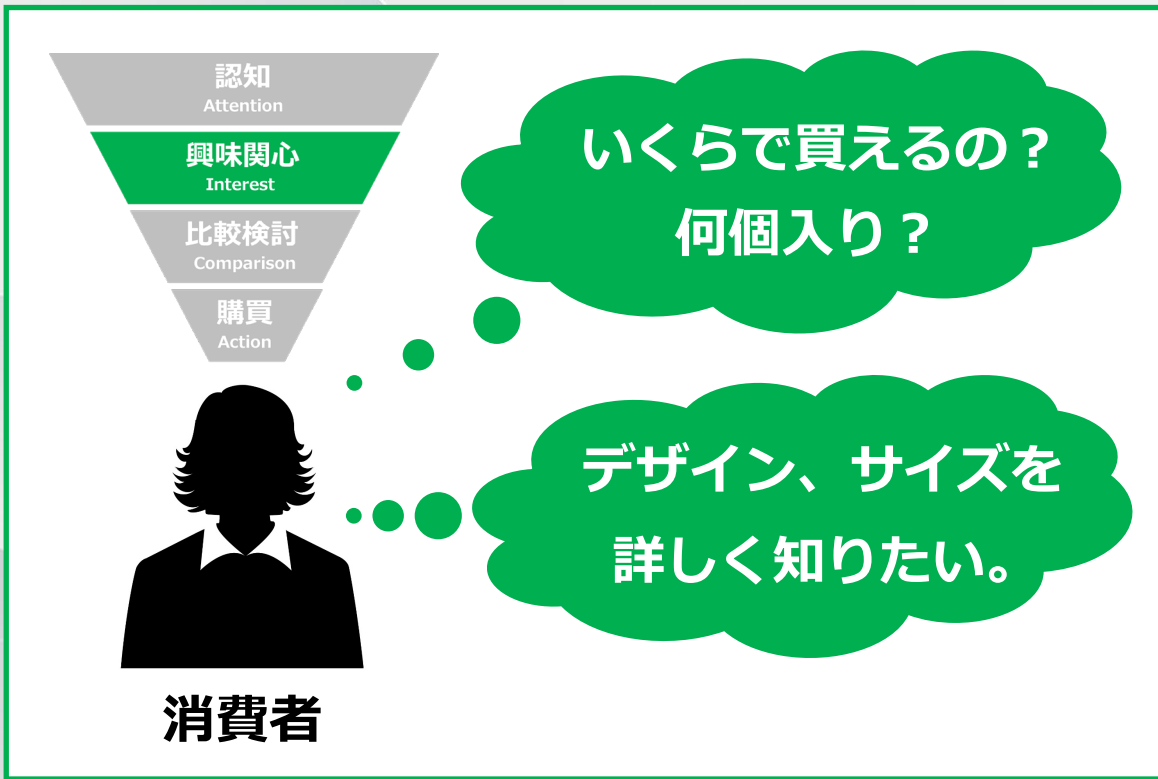


伝わるランディングページ。ストーリー構成 + aの3つの要素

【マーケティングファネル構築 マスター講座】 Vol.12

※講座画面

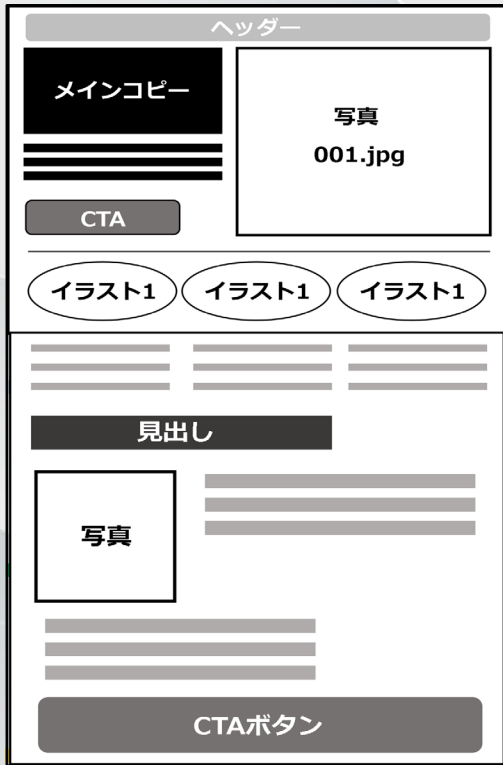
見込み顧客の獲得とランディングページ



商品・サービスの存在を認知した消費者は、より具体的な情報を求めます。そうした消費者に向けてテキストやビジュアルでより具体的な情報を提供し、消費者の興味関心を高める（見込み顧客化する）のがLPの役割です。

※講座画面

伝わるランディングページとは？



+

信頼性
Accuracy

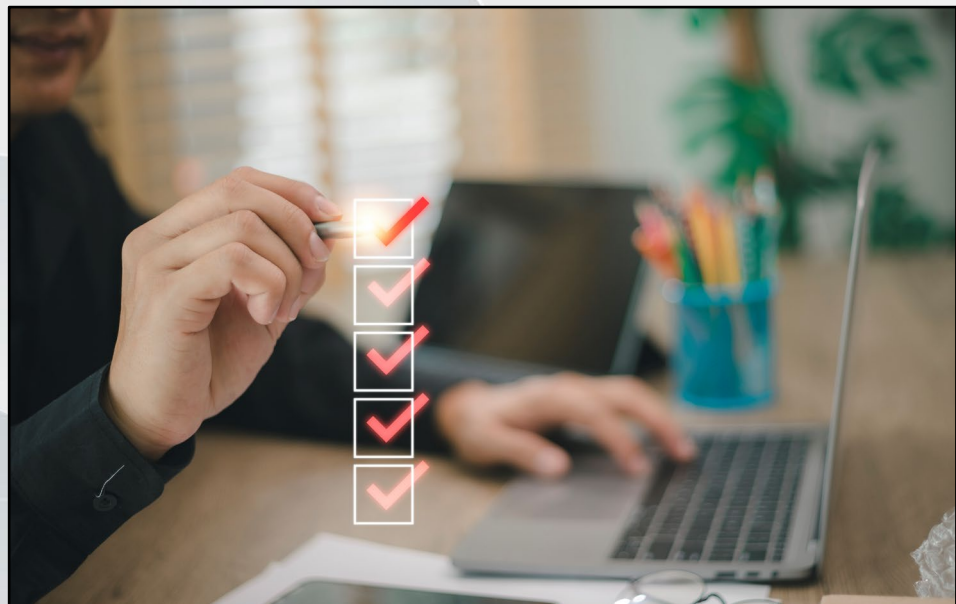
可読性
Readability

利便性
Usability

LPで商品・サービスの情報をスムーズに提示するにはまず、「結起承転」のストーリー構成を用いること。そのうえで**上記3つのポイント**に配慮すると、わかりやすく「伝わる」LPに仕上げられます。

※講座画面

1 まずは正しさありき



広告やSNS投稿の情報とランディングページに記載された情報が食い違っているとユーザーは「騙された」と感じ、商品への興味関心を失ってしまいます。

商品の**販売期間**や**割引率**はとりわけ表記のミスが起きやすいので入念にチェックを行いましょう。

具体的な方法としては、Webで無料公開されている差分チェックツールもしくは、ChatGPTなどを活用するのがおすすめです。

コピー&ペーストで
2つの文章の差分を抽出。

Diff(テキスト比較ツール)

スポンサーリンク



※講座画面

<https://tool-taro.com/diff/>

② レイアウトはZ型を基本に

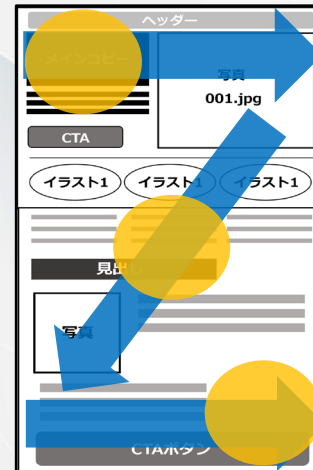


Webページを訪れたユーザーの視線は、PC、スマートフォンを問わず左上から右下へと動くのが一般的です。

ランディングページのレイアウト（導線）はZ型を基本とし、**左上から右下へと流れるようにコンテンツを配置**しましょう。

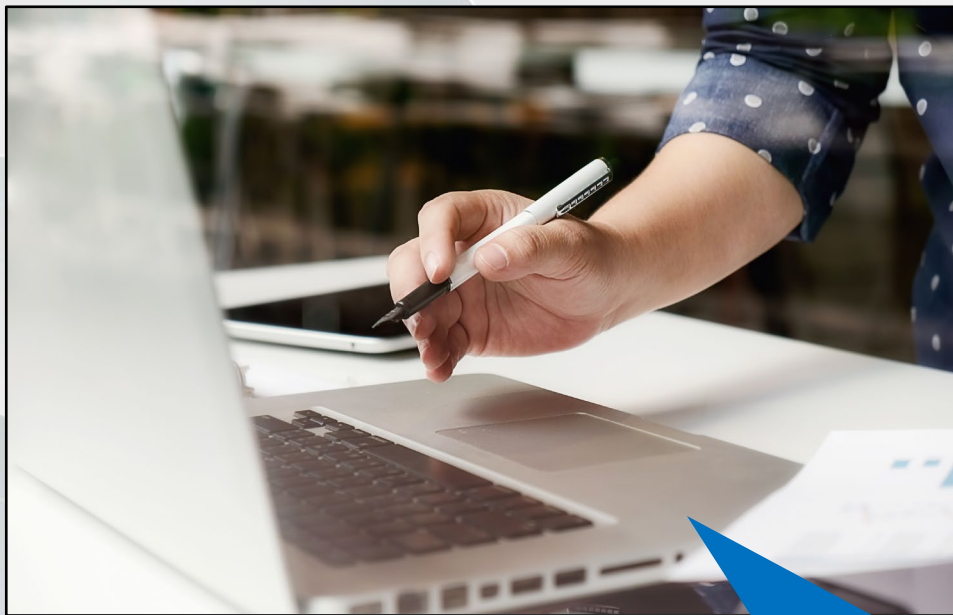
そのうえで強調したいポイント（価格、デザイン、特典など）をZ線上の始点と終点および真ん中付近に置くと、ユーザーの目にとまりやすくなります。

商品の売りや強みは
Z線の**始点・中心・終点**に寄せる。



※講座画面

3 パラグラフを区切る



どんなに内容が充実したランディングページでも文字がびっしり詰まっていると、読み進む意欲が失われてしまいます。

人間が一度に理解できる文字数は150文字から200文字前後と言われています。200文字前後までのパラグラフを作成したら、**改行+スペース（空白の1行）**を入れましょう。

適度なボリュームで文章が区切られることにより、読み手に内容を整理する時間が生まれ、より伝わりやすいテキストコンテンツに仕上がります。

200文字（PCで3~4行程度）ごとに文章を区切ることで、ぐっと伝わりやすく。

※講座画面

4 フォントの色・サイズを揃える



ランディングページの可読性を高めるにあたってはフォントへの配慮も欠かせません。

PowerPointのスライドを作成する際と同様、多くてもページ全体で5色程度までを基本とし、字体は原則1種類。あわせてサイズを大・中・小の3種類程度に抑えるとバランスが整います。

強調したいポイントを目立たせようとして膨張色を多用したり、不自然に大きなフォントを使ったりすると、**かえって読みにくくチープな印象**を与えてしまうので注意が必要です。

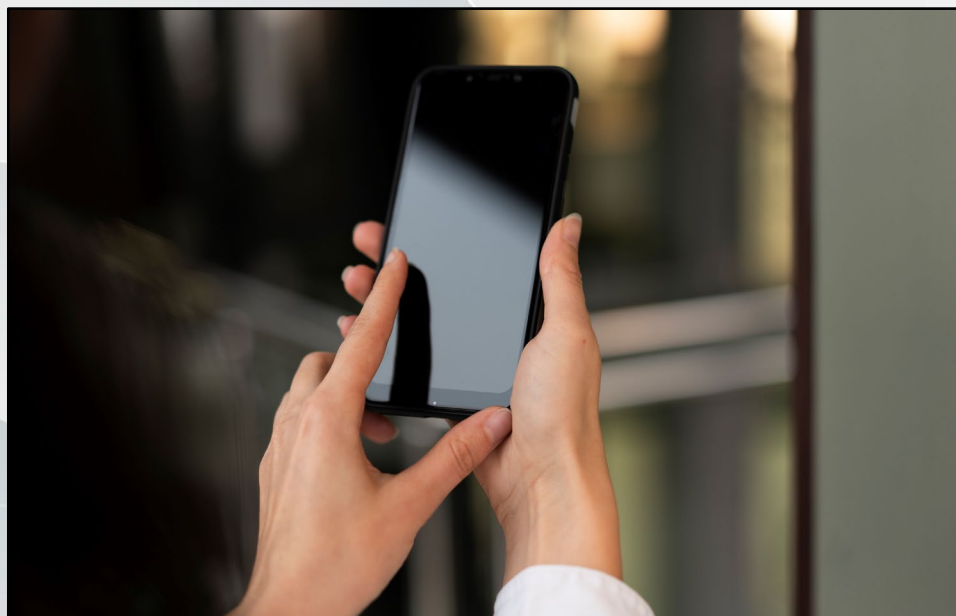
× **可読性** を **高める** ために フォント に配慮。

○ **可読性**を高めるためにフォントに配慮。

下線や記号の多用も
逆効果。

※講座画面

5 全体のボリュームを抑える

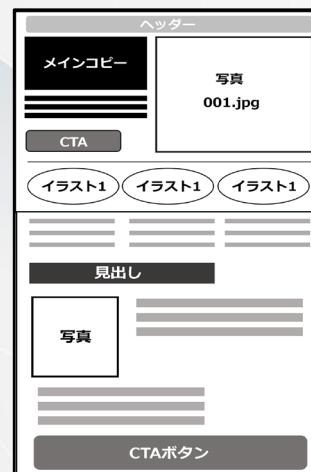


ネットユーザーの大半はスマートフォンユーザーです。

ランディングページの情報量が多すぎると、スマートフォンの小さなディスプレイで繰り返しスワイプを強いることになり、ユーザーにストレスを与えてしまいます。

商材にもよりますが、多くてもA4用紙7枚から8枚程度を目安に情報量を絞りましょう。具体的な打ち手としては**箇条書き**にする、**表にまとめる**といった方法が効果的です。

A4用紙に換算して
7枚から8枚の情報量が目安。



※講座画面

6 ページ表示速度は3秒以内に



Googleの公式発表によると、Webページの表示速度（読み込み速度）が3秒を超えた場合、ユーザーの53%が離脱してしまいます。

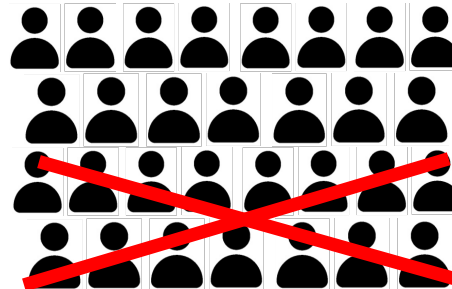
表示速度を高めるにはまず、先述したページ全体のボリュームを抑えること。そのうえでページ全体の容量に占める割合の大きい**画像（写真、イラストなど）を圧縮**するのが有効です。

🔍 [スピードインサイト](#)

URLをコピーするだけで
読み込み速度を表示。

ページの読み込みに3秒以上かかると

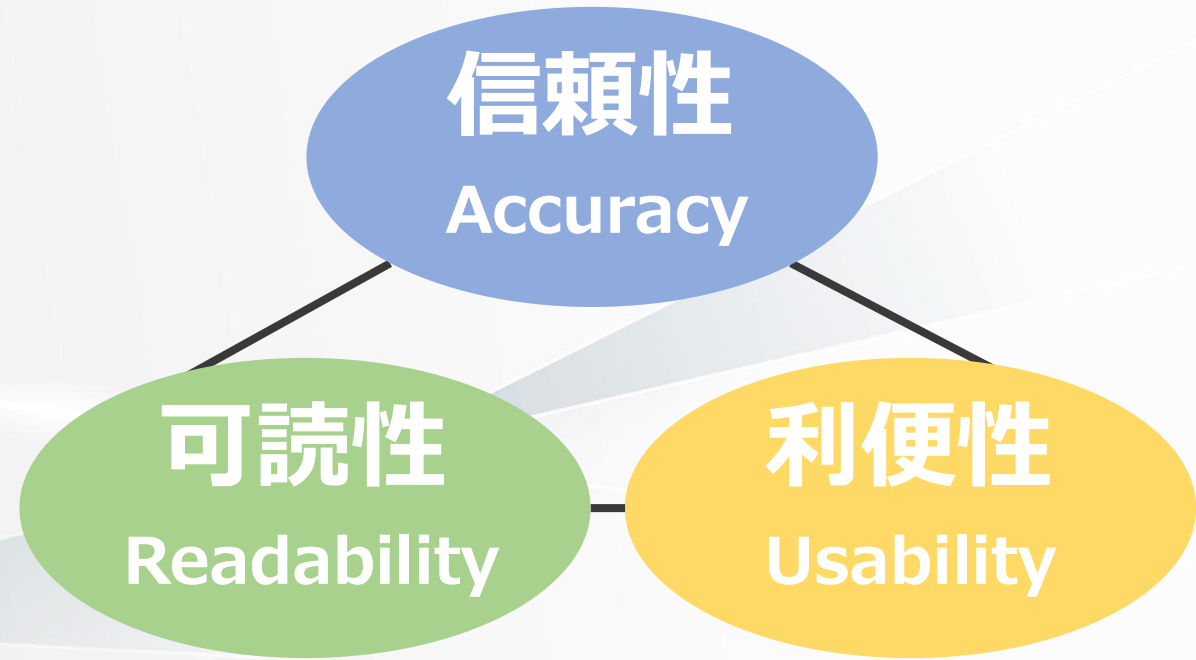
53% が離脱。



※講座画面

まとめ 伝わるランディングページの作り方

- 1 まずは正しさありき
- 2 レイアウトはZ型を基本に
- 3 パラグラフを区切る
- 4 フォントの色・サイズを揃える
- 5 全体のボリュームを抑える
- 6 ページ表示速度は3秒以内に



ランディングページを制作する際は、信頼性、可読性、利便性の3つの要素に着目し、上記6つのポイントを実践することで、わかりやすく、伝わりやすい（= **消費者の興味関心を喚起できる**）ページに仕上げられます。

※講座画面